

法政大学大原社会問題研究所

所 報

(2022.12.1 ~ 12.31)

□刊行物

『大原社会問題研究所雑誌』771号(2023年1月)

□図書受入

	和書	洋書	計
購入	40	8	48
受贈	39	2	41
合計	79	10	89

□閲覧サービス

閲覧

開館日数	18日
閲覧者数	8名
貸出図書	14冊

コピーサービス

学外	2件	2,149枚
学内	2件	924枚

日 誌

- 1日 事務職員の部分的テレワーク継続(～31日)
- 3日 月例研究会(オンライン)
鈴木貴宇(東邦大学理学部准教授)『『サラリーマン』の文化史——あるいは「家族」と「安定」の近現代史』を刊行して
- 6日 環境アーカイブズ「100分 de ガイダンス 環境資料って何?——環境アーカイブズの使い方」(社会学部・菊澤佐江子ゼミにて実施)(加藤, 山本, 宇野)
- 7日 所員会議(オンライン)
事務会議(オンライン)
第14回大原社研シネマ・フォーラム上映会『戦車闘争』(トーク:小池和洋氏(「戦車闘争」企画・プロデューサー・インタビュアー))(於:法政大学多摩キャンパスエッグドーム, 参加者:37名)
来所:富樫幸一・岐阜大学地域科学部地域資料・情報センター特任教授(環境アーカイブズ資料整理方法ヒアリング, 対応:宇野)
見学:同特任教授(大原社会問題研究所書庫, 対応:中村)

無産政党史料研究会(オンライン)

杉本弘幸(京都府立京都学・歴史館研究員)「無産政治勢力・国粋会的勢力の支持基盤形成——第一回普通選挙京都第一区を中心に」, 堀内慎一郎(東京経営短期大学専任講師兼キャリアセンター長/慶應義塾大学SFC研究所上席所員)「私と無産政党史料研究」

- 8日 HOSEIミュージアム運営委員会(オンライン)(榎)
- 10日 第2期第6回環境・労働問題研究会(於:法政大学市ヶ谷キャンパス・ボアソナードタワー+オンライン)

除本理史(大阪公立大学大学院経営学研究科/商学部教授), 林美帆(水島地域環境再生財団)「公害経験の継承と協働のまちづくり——水島と福島を中心に」

- 12日 出張:埼玉大学教育学部安藤聡彦研究室(環境アーカイブズ資料整理方法に関するヒアリング, 出張者:山本)

- 13日 大原社会政策研究会(101回)(於:法政大学大原社会問題研究所+オンライン)

高嶋真之(藤女子大学人間生活学部講師)「学習塾の基本枠組みとその越境——公設型学習塾による実践の可能性と限界」

環境・市民活動アーカイブズ資料整理研究会

加藤旭人「多摩資料の活用に向けた論点整理」, 宇野淳子「多摩資料の利用提供に向けた実務と課題」

- 21日 運営委員会(オンライン)

議題①2023年度の研究所体制について

②運営委員選出のあり方について

③兼任研究員の公募について

④付置研究所による本学ポスドクへの研究支援について

⑤LU募金の執行計画について

⑥その他

来所:HOSEIミュージアム, 凸版印刷(HOSEIミュージアムの2023年度テーマ展示に向けて所蔵『資本論』複製作成資料の撮影, 色合わせ, 対応:中村)

来所:HOSEIミュージアム(環境アーカイブズの資料公開に関する打ち合わせ, 対応:山本, 宇野)

- 27日 冬期休業(～1月6日)

大原社会問題研究所雑誌

No.774(2023年4月号)

2023年4月1日発行

定価1,018円(本体926円+税10%)

年間購読12,000円(税込)

編集(兼)発行人 法政大学大原社会問題研究所

編集長 藤原千沙

所長 布川日佐史

〒194-0298 東京都町田市相原町4342

電話042(783)2305

印刷 株式会社相模プリント

投稿募集

『大原社会問題研究所雑誌』は、社会労働問題に関する学術研究雑誌で、「論文」「資料紹介」「調査報告」の投稿を受け付けております。下記の投稿規程と執筆要領に基づいてご投稿ください。規程と要領に沿わない原稿は受理できません。[2019.10.1 改定]

投稿規程

1. 投稿原稿はワープロ・パソコン作成による未発表のものに限ります。
2. 投稿原稿の分量は、原則 20,000 字以内（図表・スペースを含む）です。
3. 投稿原稿は、審査用原稿となりますので、本文や注などで執筆者が特定される記述をしないでください。1 ページ目は、原稿の題目に続けて無記名で本文に入ってください。
4. 原稿の採否は、本誌編集委員会が指定する審査員の査読を経て、本誌編集委員会が決定します。「論文」は審査の結果、「研究ノート」となることがあります。
5. 掲載原稿には、掲載誌 2 冊と抜刷 30 部をさしあげます。
6. 投稿者は、次の各 3 部を下記宛てに郵送してください。
A：投稿原稿（審査用原稿）
B：投稿原稿の要旨（1,000 字程度）
C：表題紙
C の表題紙に記載する事項は、投稿原稿の、①題名、②目次、③分量（図表を除く文字数（スペースを含める））、④図表の有無と数、⑤著者の氏名（よみがなを併記）、⑥肩書き（所属・職名、大学の場合は学部等まで）、⑦略歴、⑧連絡先（郵便番号、住所、電話番号、電子メールアドレス）です。
7. 投稿者は、投稿原稿の郵送後、B：投稿原稿の要旨、C：表題紙を、下記宛てに電子メール（もしくは FAX）で送信してください。件名は【投稿(お名前)】としてください。

『大原社会問題研究所雑誌』編集委員会宛

【郵送先】〒194-0298 東京都町田市相原町 4342 法政大学大原社会問題研究所

【メールアドレス】ohara-journal@hosei.ac.jp 【FAX】042-783-2311

投稿原稿 執筆要領

1. A4 判の横書き、40 字×40 行、下部にページ数を付し、白黒・片面で印刷する。
2. 原則として、数字は算用数字、句読点は「、」と「。」を用いる。
3. 本文の各節には「.」のない 1 2 …を用いる。
4. ワードプロソフトによる脚注の挿入機能は使用してよい。
5. 図表は、白黒印刷できるものを提出する。本文には余白に【表 1】等と挿入場所を指定し、図表そのものは別紙に一括し、通し番号をつける。図表の文字換算数は定めないが、審査にあたっては、図表の大きさで全体の分量を概算する。
6. 参考文献は、著者名・発行年・論文名・雑誌名（書籍名）・巻号（出版社）・雑誌の場合は頁数を記述し、著者名（姓）のアルファベット順または五十音順に記載する。ただし他の記載方法も可とする。

【記載例】

榎一江（2017）「近代日本のパターナリズムと福利施設」『大原社会問題研究所雑誌』705号、29-43 頁。

原伸子（2015）「イギリスにおける福祉改革と子どもの貧困——「第三の道」と社会的投資アプローチ」原伸子・岩田美香・宮島喬編『現代社会と子どもの貧困——福祉・労働の視点から』大月書店。

Suzuki, Akira（2016）“Japanese Labour Unions and Nuclear Energy: A Historical Analysis of Their Ideologies and Worldviews,” *Journal of Contemporary Asia*, Vol.46, No.4, 591-613.